

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2021/2/1

No.675

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



「生きてくるといつかの不安」

あればこそ

武宮 信勝

「梅林の中の一木」 (撮影者 西松 薫)

法要・行事予定

2月		
2日	実如上人御祥月御命日	(8時)
6日	彰如上人御祥月御命日	(8時)
8日	現如上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
22日	乗如上人 ・聖徳太子御祥月御命日	(8時)
24日	定例法話 (13時30分) 今井 健太郎 師(第13組 常稱寺住職) 「浄土真宗入門」	
25日	善如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)

3月		
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
20日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨(物故者) 追弔法要 (13時30分) 洲崎 善範 師(第13組 即念寺住職)	
25日	蓮如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。



告知

天満別院では多彩な講師陣が解りやすく真宗のみ教えをお話ししてくださいます。2月は左記の通り定例法話を開催致します。

記

日時 2月24日(水) 13時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第13組 常稱寺住職 今井 健太郎 師

講題 「浄土真宗入門」

今月の伝道掲示板

根を養えば
樹はおのずから育つ
— 東井 義雄 —

毎月職員が、伝道掲示板を作成しています。今までは自分が良いなと思っただ直感で言葉を選んできましたが、いざ言葉の意味や伝えたいことを文章化すると、これで本当に伝わるのか？など色々なことを考えてしまい思うように書けませんでした。
毎月の雑感を考えられている御輪番のご苦労が、より一層伝わった六字城編集になりました。(I)

編集後記

嚴重な警戒体制の中、ジョー・バイデン氏がアメリカ第46代大統領に就任した。就任式にあたってバイブル(聖書)を持参し「宣誓」する姿が印象的であった。伝統的儀式とはいえ、キリストの教えに帰依し、神に誓うということは日本では考えられないことである。

演説は「すべての人は平等である」と提言した上で、分断修復を訴え団結を呼びかけた。世界中の数の人々が、彼の就任に注目し、期待を寄せたことと推察いたします。

私は就任式を視聴した中で、一番感動したのは、新型コロナウイルスが縁で悲しくも命終された約40数万人に及ぶ犠牲者に向け「黙禱」したことでした。内面の心情は想像の域を脱し得ないけど、ただ沈黙の姿は、人としての真摯な温もりを感じ、思わず胸が熱くなつた。

この3月頃から、やっと日本においてワクチンが接種されると報道された。各市町村においてワクチン課が設けられ、その準備に取り掛かっているという。医療的なことはよくわからないけど、その効力はコロナ感染防止につながっていくと大いに期待されている。私は、既に高齢者であり、しかも基礎疾患もかかっている身。できるだけ早く接種したいと勝手ながらそう思っている。

しかしながら反面、正直にふと思うのである。「それは死への恐れ、不安の根本的解消になるのかなあ？」と。この世はまさにコロナ禍で、マスク社

【次ページに続きます】

本山(東本願寺)御用達

(株)平安法衣舎

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石屋さん

株式会社 太田石材店

~仏事その他何なりとお気軽にご相談ください~

0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪府城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

Q&A

大谷派では、なぜ節分に豆まきをしないのか？



答え

節分とは季節の変わり目のこと... 今年が暦の関係で2月3日が立春です...

今の私たちにはあまりピンときませんが、旧暦で立春とは元日のこと... 中国の伝統行事がもとです...

(第15組 泉勝寺 小松肇)

定」を生きぬく力を賜って、どんなことがあっても空しさを感じない、おれない身にさせていただき... ましたと告白されました。

でも、いつの世でも不安無き者は、実はいなかったのではないか... 不安が生きる基になっていたのではなかったと想うのです。

今一度、「どん底」というせつかくのチャンスをいただいたのだから、いのちがけて、地上の救主阿弥陀仏に問いかけてみましょう。

宗祖親鸞聖人は

「念仏をもうして、地獄にもおちてそうらわばこそ、すかさねたてまつりて、という後悔もそうらわぬ。いずれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」

『歎異抄』

と仰せになってます。不安だらけの苦悩のただ中だからこそ、阿弥陀仏のはたらきに出会い「地獄一

報告

「緊急事態宣言」に伴う天満別院の対応について

1月13日付で、大阪、京都、兵庫に対し「緊急事態宣言」が発令されたことを受け、別院では、下記の通り対応することと致しました。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



記

① 期間 1月13日(木) 2月7日(日)

※宣言に準じ延長の可能性あり。

② 教化事業について

定例法話・同朋の会等全て中止と致します。聖典講座については別途記載致します。

③ 月忌まつりについて

各ご門徒に連絡を取り、希望される場合のみ行います。また「申経」もお受けしていますので、ご希望の際はご連絡ください。

④ 墓地開閉時間について

6時30分～15時

⑤ 晨朝及び感話について

従来通り継続して行います。

⑥ 別院使用について

従来通り行っております。

※ 質問等がございましたら、天満別院までご連絡ください。

第1回 聖典講座オンライン開催

聖典講座(大阪教区教化委員会主催)が1月21日(木)14時から開催されました。今回は、緊急事態宣言を受け、オンライン配信のみとなりました。御講師には古田和弘先生(九州大谷短期大学名誉学長)にお越しいただき「高僧和讃」に学ぶ」をテーマに全4回お話いただきます。

ご覧になられていた方々には、途中映像が乱れてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。



また、次回以降の聖典講座の開催の有無、形式につきましては、日程が近づき次第、ホームページにて告知させていただきます。

如是校園



根を養えば

樹はおのずから育つ

この言葉は、「いのちの教育」の実践者で、浄土真宗の僧侶でもある東井義雄さんの言葉です。教育は人間が育つための土台となるものを養うことで、それが養われれば人間として自ずと育っていくということでしょう。

仏教では、全てがそのいのちを生かされて生きている事を教えています。それは生きているもの「つながり」の中で生きているという事です。ご先祖さまからの「お陰様」や「ご恩」に生かされている事を教えてくださっています。この教えを領解せしめることが人間としての成長の土台を養うことと言っているのではないのでしょうか。

蓮如上人がよく使われる言葉で『平生業成』という言葉があります。『平生』とは、今生きている現在ということです。『業』とは、本當の生きる目的であり「何のた

めに生きているのか」、「なぜどんなに苦しくても生きねばならないのか」という本當の生きる意味のことです。『成』とは、達成することです。人生には、果たさねばならないという大事な目的がある。それは死んでからでは間に合いませんよ、生きているときに達成できるから、早く達成させなさいよという教えです。

根を養うとは、自分の親など、人的要因によって養う事を指しますが、真宗的には、根は養うのではなく阿弥陀様から養われていくものです。そうすることで他の要因に囚われずお浄土に生まれることができるのです。ご臨終までの生き方の良しあしなどの他の要因に囚われずお浄土に生まれることができます。

毎日コロナの報道ばかり流れていますが、このような状況だからこそ日々、阿弥陀様に感謝し、ご先祖様を偲びつつ、生きとし生けるものすべてに感謝する心を持つて、精一杯生き、常に今何をすべきかを考えて生活するという心掛けを思い出しいきっかけになると考えています。(I)